

財 政 局

◆ 一般会計要求総額 82,379百万円
(対前年度 +5.7%)

【令和6年度 予算要求の方針】

市債残高の高止まりや市税収入の伸び悩み、福祉・医療関係経費の増加などに加え、昨今の外壁落下など公共施設の老朽化対策、国際情勢の悪化等に伴う原油価格・物価高騰の影響により、本市の財政は更に厳しい状況となることが見込まれる。強い危機感を持って財政運営に臨み、令和6年度予算編成にあたっては、北九州市を成長軌道に乗せるために新ビジョンに沿った施策への重点化を図る。

「稼げるまち」・「彩りあるまち」・「安らぐまち」を支える財政基盤の確立に向け、引き続き税及び税外債権の適正な管理を推進するとともに、市税手続きの電子化などDXの推進により、利便性・効率性の向上に取り組む。また、未利用地の売却促進・資産の有効活用、安定的な資金調達を推進する。

【令和6年度 予算要求の基本的な考え方】

持続可能で安定的な財政の確立と維持

◎ 予算編成等における取組 要求額 38百万円 (対前年度 ▲12.9%)

新たな予算編成方針	現在策定中の新たな北九州市のビジョンに沿った施策への重点化を図るとともに、全ての事業について歳入歳出両面から事業の必要性を検証するなど、徹底した市政変革を進めていくなから、令和6年度予算編成に取り組む。
財政の見える化の取組	市民に、本市の財政状況や予算についての理解を深めていただくため、「わかりやすい北九州市の財政（パンフレット）」を作成する。また、「財務書類（バランスシート等）」の作成や、市ホームページへの予算書や中期財政見通し等の掲載を引き続き行うなど「財政の見える化」の取組を進めていく。 ◆ 「わかりやすい北九州市の財政」の作成 ◆ 統一的な基準による財務書類作成 など

◎ 収入の確保・資産の有効活用等における取組 要求額 5,841百万円 (対前年度 +38.7%)

市税収入等の確保	市税については、課税客体の正確な把握など、適正・公平な課税を行うとともに、高額事案等を中心に滞納整理を促進し、市税収入の確保に努める。 また、業務委託やシステム構築等を通じて、事務処理の効率性を高め、税外債権を含めた市債権の適正な管理を推進するとともに、DX（デジタルトランスフォーメーション）にも積極的に取り組み、各種手続の利便性向上や作業の更なる効率化・省力化に向けた業務改革を進める。 ◆ 適正・公平な賦課・徴収 ◆ 税務DXの推進 ◆ 税外債権を含めた市債権の適正な管理 など
未利用市有地の処分及び有効活用等	自主財源の確保のため、未利用市有地の積極的な商品化を進め、売却促進に取り組むとともに、個々の土地の特性に応じた活用を図るため、事業用定期借地等による貸付けなどを実施する。 また、商品化及び活用されるまでの未利用市有地の維持管理を行う。 ◆ 未利用市有地の一元管理と有効活用の促進事業 など
ESG債の発行	ESG投資に関心が高い新たな投資家の獲得、本市のSDGsに関する先進的な取組の理解の促進、財源確保の多様化や安定化を図るため、サステナビリティボンド「北九州SDGs未来債」を継続発行する。

◎ 公債償還特別会計繰出金 要求額 68,700百万円 (対前年度 +4.2%)

◎ 公営企業費 要求額 7,168百万円 (対前年度 +0.5%)

※ 「公営企業費」の要求額は、一般会計繰出金について、企業局（上下水道局・交通局）等から要求を受けた額となります。

◎ 北九州市SDGs未来基金積立事業 要求額 332百万円 (前年度 332百万円)

【特別会計】

◎ 公債償還特別会計 要求額 168,761百万円 (対前年度 +0.0%)

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和6年度に実施することが確定しているものではありません。

令和6年度財政局予算要求方針

1 令和6年度財政局予算要求総括及び方針

(1) 令和6年度財政局予算要求総括

【一般会計】

令和6年度要求総額	82,378,977千円
(令和5年度予算額	77,962,176千円)
前年度比	+5.7%

【公債償還特別会計】

令和6年度要求総額	168,760,641千円
(令和5年度予算額	168,701,000千円)
前年度比	+0.0%

(2) 令和6年度財政局予算要求の方針

市債残高の高止まりや市税収入の伸び悩み、福祉・医療関係経費の増加などに加え、昨今の外壁落下など公共施設の老朽化対策、国際情勢の悪化等に伴う原油価格・物価高騰の影響により、本市の財政は更に厳しい状況となることが見込まれる。強い危機感を持って財政運営に臨み、令和6年度予算編成にあたっては、北九州市を成長軌道に乗せるために新ビジョンに沿った施策への重点化を図る。

「稼げるまち」・「彩りあるまち」・「安らぐまち」を支える財政基盤の確立に向け、引き続き税及び税外債権の適正な管理を推進するとともに、市税手続きの電子化などDXの推進により、利便性・効率性の向上に取り組む。また、未利用地の売却促進・資産の有効活用、安定的な資金調達を推進する。

2 重点的に取り組みたい主なもの

(1) 「稼げるまち」の実現

該当なし

(2) 「彩りあるまち」の実現

該当なし

(3) 「安らぐまち」の実現

- ・ **新規**市税手続の電子化事業 25,549千円
市民や事業者が行う手続きについて、来庁不要・ペーパーレスを実現するため、オンライン化対応を行う（令和7年1月予定）。
 - ・ 個人住民税の申告
 - ・ 二輪の軽自動車等の新規取得にかかる申告
 - ・ 二輪の小型自動車の継続検査における納税の確認

3 令和6年度予算編成に向けた事務事業の自己点検状況

令和6年度予算編成と同時並行的に取り組んでいる自己点検の内容については、予算案の決定に向け見直しを検討しているところです。

現時点で、見直しの検討を行っている事業の例としては、以下のものがあります。

(1) 視点4：実施水準及び対象範囲の妥当性

(例)・「わかりやすい北九州市の財政」作成業務

(2) その他

(例)・下水道事業会計繰出金
(下水道使用料の減免分(生活保護世帯等))

(3) その他一般経費(内部管理費)の見直し